

## 地方会議（岐阜県多治見市）

### 1. 日時、場所

平成24年3月24日（土） 13時30分～15時30分  
多治見市産業文化センター 3階大会議室

### 2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 90名  
経済産業省 中根 康浩 経済産業大臣政務官 他

### 3. 参加者の意見

#### （1）出された意見数（課題別）

全体意見数	22
資金調達	0
経営指導・経営支援	10
技術力・人材（技能承継等）	1
取引関係（下請取引・流通構造等）	0
販路開拓（海外展開等）	2
若手・青年層の活力発揮	2
女性層の活力発揮	1
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	2
その他	4

#### （2）主な意見

##### 【経営指導・経営支援】

- ・ものづくりをしている会社にとっては、自社の強みを消費者目線の商品開発につなげるのが難しいため、ターゲットにあったマーケティング支援が欲しい。
- ・有効な支援策があっても零細企業にまで情報が入ってこない。情報が伝わる環境を整備し、小さな企業でも施策を利用できるようにすべき。

##### 【技術力・人材（技能承継等）】

- ・若者が「中小企業を知る」「入社する」「定着する」「活躍する」の4段階ある中、中小企業を知らないことが雇用ミスマッチの大きな課題。

##### 【販路開拓（海外展開等）】

- ・海外販路開拓のため、例えば、海外のTV枠を買い取って、日本商品をPRするなど、メディアの活用を検討すべき。

- ・ 韓国、中国に対抗するため、オール東海、オールジャパンで戦えるような施策展開を要望する。

#### 【若手・青年層の活力発揮】

- ・ 女性や若手の起業のためには、資金面での支援も重要だが、コーディネートしてくれる「人」の面の支援がより重要。

#### 【女性層の活力発揮】

- ・ 中小企業が大企業並みの待遇を用意することは難しい。例えば、中小企業が地域の幼稚園や保育園と提携する仕組みがあれば中小企業でも女性が活用できる。

#### 【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・ 中心市街地に対する施策は多いが、郊外に対する施策は少ない。
- ・ アーケードやイベントにお金を出すよりも、情報発信を手伝うなどお金を使わずとも効果的な支援はあるはず。
- ・ 米子の水木しげるロードのように、今あるものをマスコミを活用して上手く見せていくことも重要。

#### 【その他】

- ・ 世界に挑んでいる大田区の町工場のように、中小・小規模企業の「連携力」を磨き、企業同士がwin-winの関係を築けるようになることが重要。